

住民が担い手になった

杉並のまちづくり・公共施設づくりから学ぶ

蚕糸試験場跡地周辺と杉十小学校



2024年1月20日(土)

13:00 ~ 14:00

現地見学 定員 30名(先着順)

14:15 ~ 17:00

座談会 セシオン杉並 講座室 定員 65名



昭和50年頃の蚕糸試験場の様子 写真提供:杉並区広報課

話し手 村上 美奈子 杉並建築会代表

鳥山 千尋 元杉並区担当職員

参加費:500円 ※どなたでもご参加いただけます

主催:杉並建築会 (JIA 杉並地域会・東京都建築士事務所協会杉並支部・東京建築士会杉並支部)

後援:杉並区

住民が担い手になった 杉並のまちづくり・公共施設づくりから学ぶ

杉並区では現在、まちづくり・道路整備・施設再編などの進め方について、新たに検討が行われ、区民との対話集会を開き、区民意見を反映させる仕組みを模索中です。過去を振り返れば、杉並区では非常に先進的なまちづくりや施設計画の事例が試みられ、実現されてきました。

今後の方策を考える上でも、それらの事例をプロセスも含めて丁寧に振り返り、これまで住民が担い手になって実現されてきた経験から、現在のまちづくりや公共施設づくりに活かすことができるようなプロセスや方法を学ぶことが大切なのではないでしょうか。杉並建築会では2023年度から2024年度にかけて、3事例を取り上げ、区民と共に現地見学や意見交換・ワークショップを行い、住民が担い手となった杉並のまちづくり、公共施設づくりの方法やプロセスについて話し合い、これからのまちづくり、公共施設づくりの方法についての提言へと繋げたいと考えています。

第1回 蚕糸試験場跡地周辺と杉十小学校

杉並で全国初の防災公園と一体として実現した開かれた小学校の計画

蚕糸試験場跡地周辺の整備と杉十小学校の計画は昭和55年（1980年）に国から区への払下げ方針として示された防災公園及び周辺地域の不燃化の整備推進をきっかけとして4.2haの跡地利用の計画が住民参加によって進められた。

第2回 ゆう杉並（2024年5月予定）

居場所づくりとして企画から運営にも中高生が関わる全国初の事例

第3回 杉並中央図書館改修（2024年9月予定）

設備中心の改修から、利用者意見を取り入れ、次世代区民図書館へ全面改修された事例

第4回 総括（2025年1月予定）



村上 美奈子 むらかみみなこ

東京藝術大学美術学部建築科卒、同大学院修士課程修了後、一級建築士事務所計画工房設立主宰。建築と都市を空間的に関係づけ、新たな可能性を実現するまちづくりを展開。日本建築学会賞業績賞、日本建築学会作品選奨、木の建築賞、黄綬褒章他多数。



鳥山 千尋 とりやまちひろ

1969年明治大学建築学科卒業。1974年杉並区入庁。建築行政、まちづくりを担当。まちづくり推進課長、建築課長、都市計画課長、まちづくり担当部長等を歴任。杉並区建築審査会会長。一級建築士、技術士（建設部門・都市及び地方計画）

① 現地見学 13:00 ~ 14:00

集合場所：杉並第十小学校正門前



② 座談会 14:15 ~ 17:00

セッション杉並 2F 講座室

杉並区梅里1丁目22-32 03-3317-6611

※終了後懇親会を予定しています（17:30 ~ 19:30 会費制）

【申込み方法】 申込フォームにて必要事項をご記入の上お申し込みください

QRコードからも申し込みができます

【申込フォーム】 <https://forms.gle/Z1Q5sQ2fBbifVyTT8>

【問い合わせ】 03-3399-5326 杉並建築会（風工房・石井）

e-mail: sugi_kenchiku@kkoubou.sakura.ne.jp

